

【叙勲】

祝 叙勲 令和7年 春の叙勲受章

謹んでお祝い申し上げます。

旭日双光章 伊藤實穂氏(53 回生 山口支部)

瑞宝双光章 錦 成郎氏(54 回生 奈良支部)

旭日双光章を受章して



元社団法人山口県放射線技師会 会長
元山陽小野田市立病院 医療技術部長

伊藤實穂(53 回生)

令和7年春の叙勲におきまして、旭日双光章を受章することができました。これは、一重にご指導ご支援をいただきました皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。1979年3月に京都放射線技術専門学校を卒業し、現在まで放射線診療業務を通じ地域医療に貢献することができました。

山陽小野田市民病院では放射線室長として、また薬局を含む7部署の総括責任者として医療技術部長を務めました。また、元公益社団法人山口県放射線技師会の役員として23年間尽力しました。

この内12年間は会長として特に山口県全体の技術向上に努力いたしました。この傍ら、旧小野田准看護学院の講師として約20年間教壇に立ちました。

多くの看護学生が卒業しており、現在も活躍しています。嬉しい限りです。

東日本大震災に伴う福島原発事故の際に公益法人日本放射線技師会第9次隊として第8次隊清水操氏(59回生)の後を引き継ぎ被災地でのサーベイ活動に従事しました。この際、清水操氏には大変お世話になりました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。また、公益社団法人日本放射線技師会の全国地域理事に就任した際、各県の同門学友会の方から声をかけていただき心強く感じました。ありがとうございました。各県の役員に学友会の方が多くいらっしゃるのを改めて実感しました。

最後になりますが、恩師 山田先生、西谷先生、学友会の諸先輩、後輩各位、そして苦楽を共にした53回生各位に感謝申し上げます。これからも微力ですが、地域医療に貢献したいと考えています。

学友会の益々の発展と学友会の皆様のご健康とご多幸をお祈りしご挨拶とさせていただきます。

瑞宝双光章を受章して

学友会会長 錦 成郎(54 回生)

このたび、春の叙勲に合わせて、身に余る光栄として、瑞宝双光章の叙勲を賜ることとなりました。これもひとえに、長年にわたってご指導ご鞭撻を賜りました皆様のお力添えの賜物と、心より深く感謝申し上げます。今回の受章は、私個人の栄誉というよりも、私を支え共に歩んできた皆様方のご尽力の賜物であり、この喜びを皆様と分かち合いたいと存じます。

思い起こせば、天理よろづ相談所病院に就職し、技師長として16年間活動する傍らで、奈良県診療放射線技師会、日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会の近畿支部や本部などを中心とした、長年にわたる様々な活動の中で、多くの経験を積ませていただいたおかげであると確信しております。このなかでの人との出会いは私の宝物となっています。加えて、これまでの経験を改めて思い起こす機会をいただいたように思っ

ています。人生の折り返し点が近づいた頃に学友会に参画することになり、若い方々と交流する場面にも恵まれ、自分の気持ちも若返ったように思います。今後もなお一層精進し、これまでの経験を生かして、社会のために微力ながら貢献してまいり所存でございますので、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、会員諸兄のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

以上

* 通巻 256 号 2025 年 7 月 10 日発行(2025-No.3)より